

普及やいま

第150号

発行

八重山農林水産振興センター
農業改良普及課

沖縄県石垣市真栄里438-1

TEL 0980-82-3497 Fax 82-4142

与那国駐在

TEL 0980-87-2354(代)

新年度のご挨拶

日頃より、農業改良普及事業へのご理解とご協力に感謝申し上げます。

新年度の定期人事異動に伴い、2名の新しいメンバーを迎え、職員14名で八重山地域の農業振興に向け、さらに努力をしていく所存でございます。農家の皆様方をはじめ、市町やJA等の関係機関と協働体制で普及指導に取り組むことが重要ですので、ご協力とご支援をお願いいたします。

八重山地域においても、他地域同様に農業を取り巻く環境は、農業者の高齢化、後継者や担い手の減少が大きな課題となっており、度重なる台風等の気象災害、生産資材等の高騰などによる生産コストの増大、今年は新たに新型コロナウイルスの影響なども発生し厳しいものがあります。

そのため、沖縄県では「沖縄21世紀農林水産業振興計画」に基づき、八重山地域の農業振興を図るため、「世界に誇れる日本最南端の優れた自然と農林水産業の共生」をきっかけ、災害に強い栽培施設の整備や一括交付金を活用した「農林水産物流通条件不利性解消事業」等、各種施策による農業の活性化に取り組んでいるところです。

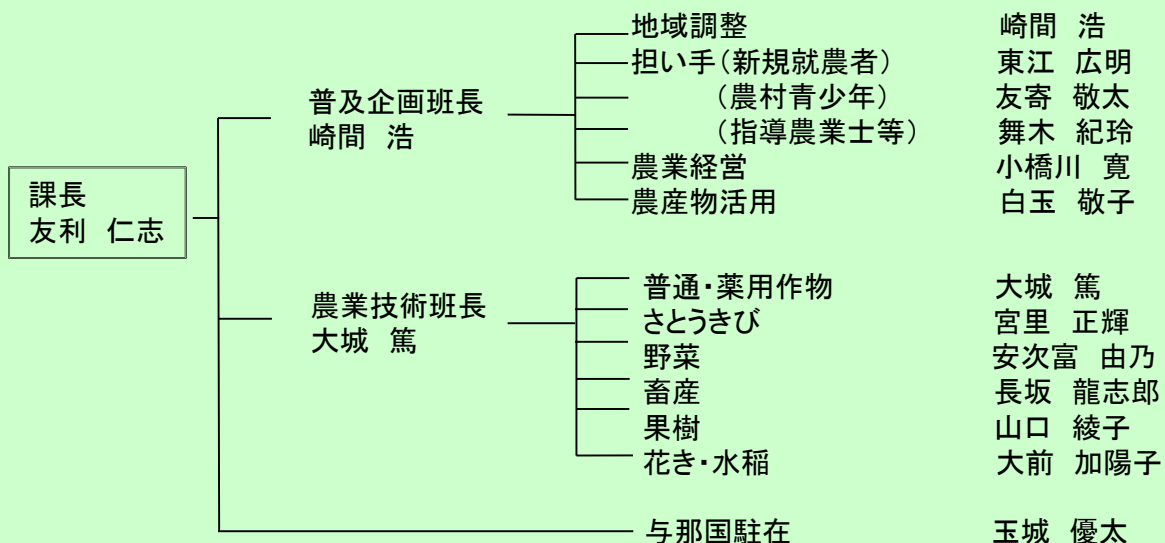
当課においては、①安定的な農業の担い手育成、②おきなわブランドの確立に向けた産地育成、③環境と調和した農業生産、④地域資源活用による農村振興の4点を基本課題に位置づけ、普及指導計画を策定しました。特に、環境との調和は、重要なテーマであり、安全・安心の分野だけでなく、自然環境及び労働環境分野の配慮までを意識した取り組みが求められてきています。

これらの課題解決のため、関係機関のご協力もいただきながら、八重山農業の振興及び活性化に取り組んでまいりますので、今年度もよろしくをお願いいたします。



【課長 友利 仁志】

八重山農林水産振興センター 農業改良普及課体制 (令和2年度)



竹富町肉用牛拠点産地認定！

竹富町が肉用牛子牛の拠点産地として認定されました。生産出荷組織の設置や産地協議会の設置、肉用牛生産近代化計画の策定などの要点を満たしたほか、島ごとの有利性や特徴を生かして一緒に取り組む体制などが評価され、2018年のうるま市に続いて県内9番目の認定となりました。今後は産地協議会を中心に、生産基盤の強化および飼養管理技術の向上を図り、安定的な生産出荷を目指します。

同町の5月セリにおける子牛平均価格は新型コロナウイルスの影響を受けて50万円を下回ったものの、今回の認定がよい牛をつくる起爆剤になると思います。

(担当:東江・長坂)



令和元年度沖縄県農林漁業賞に西表島カボチャ生産部会 & 西原茂夫氏



令和元年度「沖縄県農林漁業賞」の表彰式が八重山農林水産振興センターで行われ、西表島カボチャ生産部会(部会員7名)とかんしょ生産者の西原茂夫氏(石垣市)が受賞しました。

西表島カボチャ生産組合は、カボチャの栽培を始めた当初からの苦勞を乗り越え、カボチャの拠点産地として認定されて以降も、

部会員全員で栽培技術の向上に邁進し高品質なカボチャを市場へ供給しようとする熱意が評価されました。

西原茂夫氏は、さとうきびとかんしょとの輪作体系による高単収技術の構築や種いも利用による苗の増殖技術、緑肥栽培や圃場周辺のグリーンベルト設置による土壌流出防止、産地協議会との連携等、地域の農家の模範となる活動を数多く実践されました。石垣市のかんしょ生産への貢献度は高く、特に、栽培技術の向上に関する努力は人一倍で、沖夢紫を高単収で生産するための方法の情報収集や研究を行い、試行錯誤を繰り返し、得られた結果を地域農家とも共有し、地域の沖夢紫の生産振興に寄与されたことが、評価されました。

(担当:大城・安次富)

不織布のべたがけ栽培を利用した冬場のかんしょの苗作りについて

かんしょの春植を行う場合、冬場に苗を作る必要があります。冬場は低温や強風により、かんしょの生育は劣ります。その悪条件を打破するために、種イモ植付後の不織布のべたがけ栽培により、良質な苗の生産が可能であることが分かりました。11月下旬に施肥とプリンスベイト剤を処理した畝(80cm)を作成後、ベンレート水和剤で粉衣した種イモ(100g程度)を50cm間隔で畝内に深さ5cm程度で伏せこみます。その後、不織布(商品名:パオパオ90)を被覆し、パオパオ押さえG型で不織布の端を50cm間隔で固定しました。その結果、実証区の萌芽率は63.5%となり、対照区の40%と比較して高くなりました。また、1月上旬~2月中旬に襲来した寒波の影響で対照区では、先端葉の葉枯症状や生育遅延などの低温障害が75.7%確認されましたが、実証区では確認されませんでした。さらに、実証区における種イモ伏せ込み4ヶ月後の1a当たりの採苗数は2,887本となり、対照区と比較して170%ほど増加し、さらにはキジによる種イモの食害被害も回避できました。冬場のかんしょの苗作りに、不織布のべたがけ栽培は有効ですので、是非ご利用ください。(担当:大城)



種イモ配置

種イモ伏せ込み後、
不織布被覆パオパオ押さえ
G型パオパオ押さえG型の
設置方法

新規就農者のみなさまへ

「八重山地区農でグッジョブ推進会議(事務局:農業改良普及課)」では、新規就農者への支援として毎年新規就農講座を開催しています。令和元年度は5回講座を開催し10名の方が受講されました。当講座では出席率80%以上を達成された受講生に修了証書を授与しています。今年度も下記の内容で新規就農者を対象に新規就農講座を開催します。

●募集人員:10名程度

●カリキュラム:※都合により内容等について変更することがあります。

昨年度の講座の様子



回	開催時期	内容(案)	場所
第1回	8月	開講式 オリエンテーション ○新規就農者向け支援策について ○農業に役立つ防災気象情報	農業改良普及課
第2回	9月	○農は土から~やさしい土の話~ ○総合的な病害虫の防除	農業改良普及課
第3回	10月	○農業機械の安全使用について ○GAPについて(現地研修含む)	農業改良普及課
第4回	11月	○施設の種類と利用について ○農業経営について	農業改良普及課
第5回	12月	○「先進農業者に学ぶ」 閉講式 修了証書授与	現地研修 農業改良普及課

★興味のある方は、農業改良普及課までお問い合わせ下さい(担当:東江)

新役員紹介

【八重山地区農業士等連絡協議会】

会長 伊志嶺 和子 (石垣市)
 副会長 池村 英勝 (西表島)
 副会長 長嶺 園子 (石垣市)
 書記会計 杉本 繁文 (与那国町)

【八重山地区農業機械士協議会】

会長 高嶺 英康 (石垣市)
 副会長 當銘 幸洋 (石垣市)
 会計 仲盛 裕 (小浜島)

【八重山地区農業青年クラブ】

会長 宮喜 一 (黒島)
 副会長 東内原 航太 (石垣市)
 書記会計 杉本 茂之 (与那国町)

【石垣島ファーマーズクラブ】

会長 東内原 航太
 副会長 土橋 玄
 書記会計 仲里 憲治

【与那国町農業青年クラブ】

会長 蔵盛 泰裕
 副会長 杉本 茂之

【黒島農業青年クラブ】

会長 宮喜 一
 副会長 新里 剛太
 会計 宮良 当志郎
 事業部 鈴木 梯子

【西表島農業青年クラブ】

会長 大浜 一将
 副会長 野原 友広
 書記会計 平井 伯享

(担当: 舞木、友寄)

ツマジロクサヨトウの発生に注意!

2020年4月に入り、八重山管内では石垣市においては、トウモロコシ(1圃場)とサトウキビ株出(2圃場)、5月には波照間島でモチキビ(1圃場)での発生が確認されました。

多発すると、農作物への被害が拡大する恐れがあるので、注意が必要です。

本害虫の対策

- ①さとうきびやソルガム、トウモロコシなどで本害虫の被害と思われる食害が確認された場合、病害虫防除技術センターもしくは農業改良普及課までご連絡ください。防除対策について情報提供します。
- ②早期発見が本害虫防除のキーポイントになりますのでご協力をお願いします。(担当: 宮里)



サトウキビ新葉での食害被害の様子



老齢幼虫

若齢幼虫

自己紹介

4月から新しいメンバーが加わりました!

本庁畜産課から赴任してきました小橋川 寛 (こばしかわ ひろし)です。入庁10年目の37歳です。宜しくお願いします



4月から採用されました長坂龍志郎 (ながさかりゅうしろう)です。八重山地域の畜産を盛り上げられるようにがんばります。よろしくお願ひします。



転出者



本田 祥嵩
 →北部農業改良普及課
 我那覇あんり
 → 農業研究センター

お世話になりました!